

会社概要・株式の状況 (2024年9月30日現在)

商号	フィンテック グローバル株式会社
設立	1994年12月7日
資本金	53億7,333万6,398円
連結従業員数	168名(臨時従業員は含まず)
連結子会社数	21社
発行済株式の総数	201,321,700株(自己株式 5,434,320株を含む)
株主数	27,139名

役員 (2024年12月19日現在)

代表取締役社長	玉井 信光
取締役副社長	千田 高
取締役	吉岡 尚子 木村 喬
社外取締役	野崎 篤彦 (常勤監査等委員) 鈴木 健次郎 (監査等委員) 大山 亨 (監査等委員)

株主メモ

事業年度	10月1日～翌年9月30日
定時株主総会	12月
基準日	9月30日
中間配当基準日	3月31日
上場証券取引所	東京証券取引所 スタンダード市場(証券コード：8789)
公告の方法	電子公告により行います。ただし、やむを得ない事由により電子公告を行うことができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
公告掲載URL	https://www.fgi.co.jp/announcement/
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話お問い合わせ先	0120-782-031(フリーダイヤル) 受付時間 9:00～17:00(土・日・祝日及び12/31～1/3を除く)

フィンテック グローバル株式会社

FGI

フィンテック グローバル株式会社

FinTech Global Incorporated

The firm of innovative financing

第30期

事業報告書
2023.10.1～2024.9.30

<https://www.fgi.co.jp/>

本社 〒141-0021 東京都品川区上大崎三丁目1番1号
目黒セントラルスクエア15F

大阪支店 〒541-0042 大阪府大阪市中央区今橋三丁目2番20号
洪庵日生ビル1階
(2024年10月1日新設)



証券コード：8789

投資銀行事業が業績を牽引し、4期連続の増収増益を達成、復配。 企業や社会の課題解決を通じて成長し、株主価値の更なる向上を目指します。

2024年9月期は、投資銀行事業が業績を牽引し4期連続の増収増益となりました。投資銀行事業においては、事業承継市場の拡大に伴い、プライベートエクイティ (PE) 投資やアレンジメントによる収益が大きく伸びました。エンタテインメント・サービス事業はメッツァ来園者数が増加するとともに単価上昇とコスト削減により、損益改善が進み回復が鮮明となりました。

この結果、売上高は前期比48.4%増の13,807百万円、売上総利益は前期比43.9%増の7,355百万円、営業利益は前期比91.2%増の2,569百万円となり、最終利益は特別利益241百万円、特別損失276百万円を計上したことにより、前期比4.5%増の1,675百万円となりました。当社が重視する指標であるROEは18.8%となり、前期の21.6%に続いて高い水準を維持しました。

これらの状況を受け、当社は2024年2月以降3回にわたり自己株式の取得枠を設定し、その結果、株式の取得価額の総額は448百万円となりましたが、今般株主の皆様への直接的な利益還元として、1株当たり1円50銭の期末配当を実施することとなりました。

2025年9月期は、2024年9月期にアセット投資の回収がほぼ終了したため減収となる見込みですが、利益率の高いPE投資収益・アレンジメント及びその他の業務の売上高が増加することで売上総利益は増加すると見込んでいます。またエンタテインメント・サービス事業は、集客増と顧客単価増、コスト削減により、セグメント損益の黒字

化を予想しています。これらにより、5期連続の増益を見込み、配当は1円50銭増配し3円を予定しております。

当社グループの事業は、企業や社会の課題に対峙し、解決に貢献するものです。課題は事業承継や民間・公共施設の更新、財政、エネルギー、成長投資、地域活性化、経済格差など多岐に渡りますが、これらには資金面で行き詰まっているプロジェクト等が山積みされています。当社グループは困難な課題を分析し解決策を考えファイナンスなどで支援することで、高い付加価値を生み出し持続的に成長していきたいと考えております。また近年、公開市場で取引されない有価証券や不動産など相場環境に影響を受けずリターンが期待される市場としてプライベートアセットの市場が注目されていますが、当社はこの分野に強みを持っております。この事業領域を更に強化することで、収益を上げて株主価値向上に努めて参ります。役職員一同、鋭意努力を重ねて参りますので、何卒一層のご支援を賜りたく、よろしくお願い申し上げます。

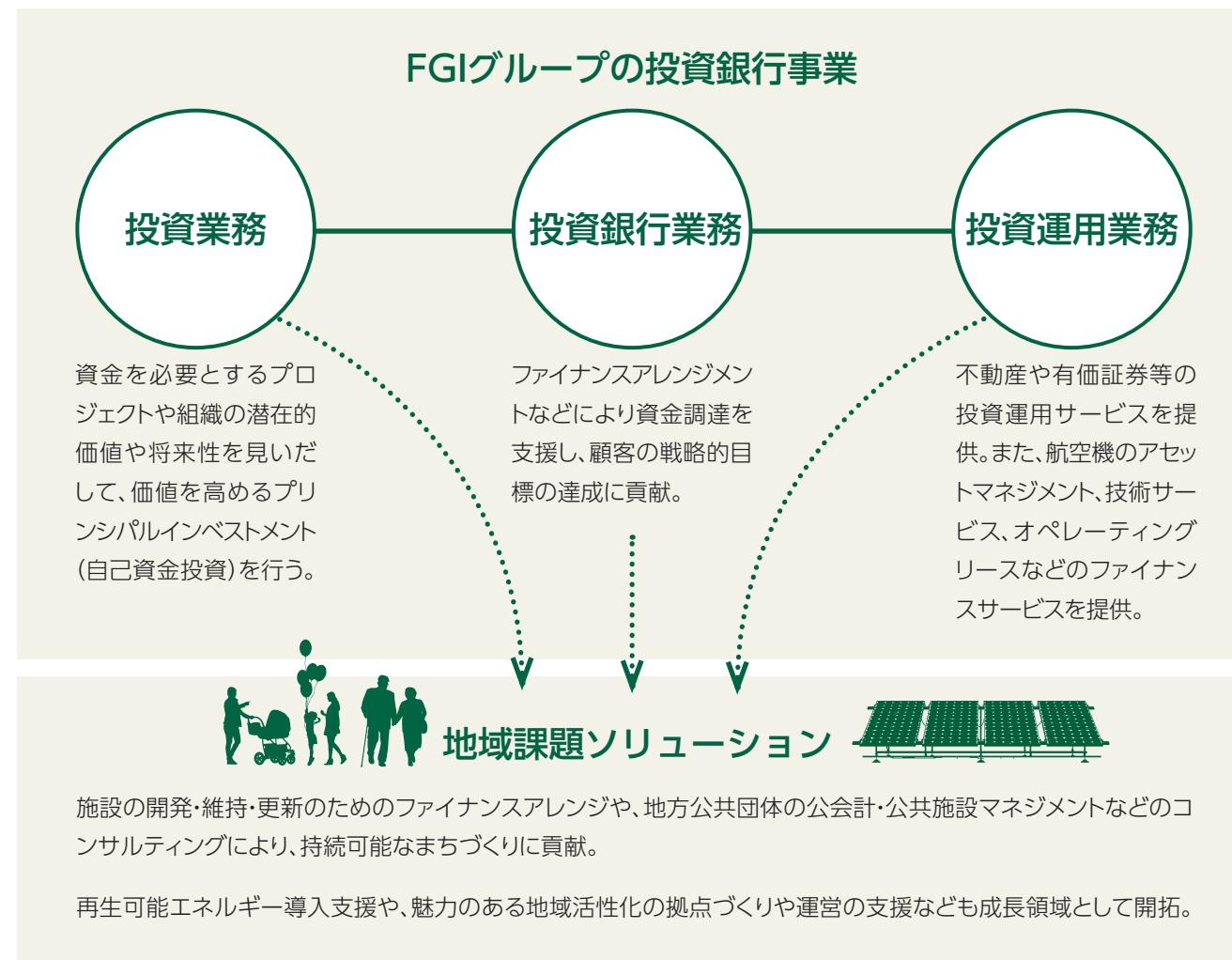
2024年12月
代表取締役社長

玉井 信光



フィンテック グローバル (FGI) は、ブティック型投資銀行*として、 企業や社会の課題解決に貢献しています。

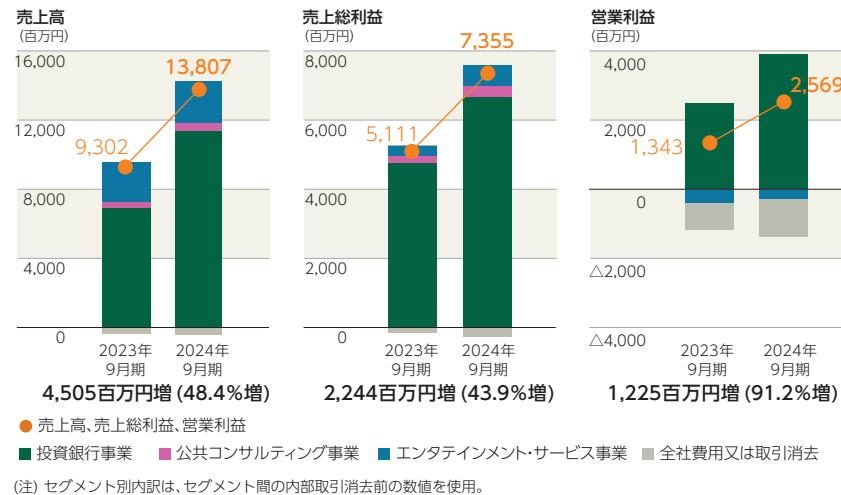
*大規模で広範な事業を展開する大手投資銀行の業務の一部を、小規模かつ専門的に展開する投資銀行を「ブティック型投資銀行」といいます。



4期連続の増収増益

●投資銀行事業が業績を牽引。エンタテインメント・サービス事業の回復が鮮明に。

(単位:百万円)	2023年 9月期	2024年 9月期	増減率
売上高	9,302	13,807	+48.4%
売上総利益	5,111	7,355	+43.9%
営業利益	1,343	2,569	+91.2%
経常利益	1,277	2,461	+92.7%
親会社株主に 帰属する当期純利益	1,603	1,675	+ 4.5%
償却前営業利益	1,811	3,038	+67.7%
1株当たり 当期純利益 (円)	7.97	8.41	—
ROE	21.6%	18.8%	—



2025年9月期 連結業績予想

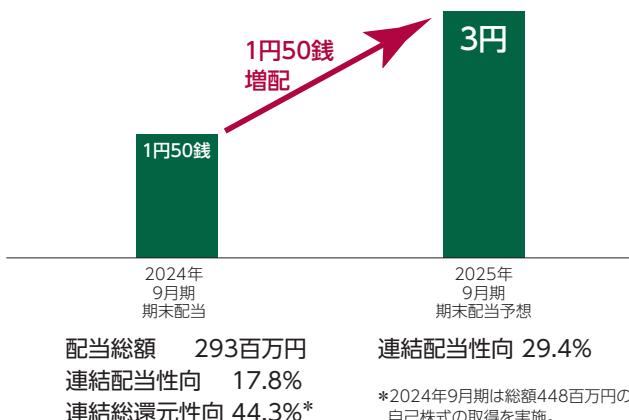
5期連続の増益を計画。

- プライベートエクイティ(PE)投資収益、業務受託(アレンジメント)収益の増加により、売上総利益が増加。営業利益以下の段階利益も増加を見込む。
- エンタテインメント・サービス事業は、セグメント損益の黒字化を予想。

(単位:百万円)	2024年 9月期 実績	2025年 9月期 予想	増減率
売上高	13,807	12,300	△10.9%
営業利益	2,569	3,100	+20.6%
経常利益	2,461	3,000	+21.9%
親会社株主に帰属する当期純利益	1,675	2,000	+19.3%
1株当たり 当期純利益 (円)	8.41	10.21	—

株主還元

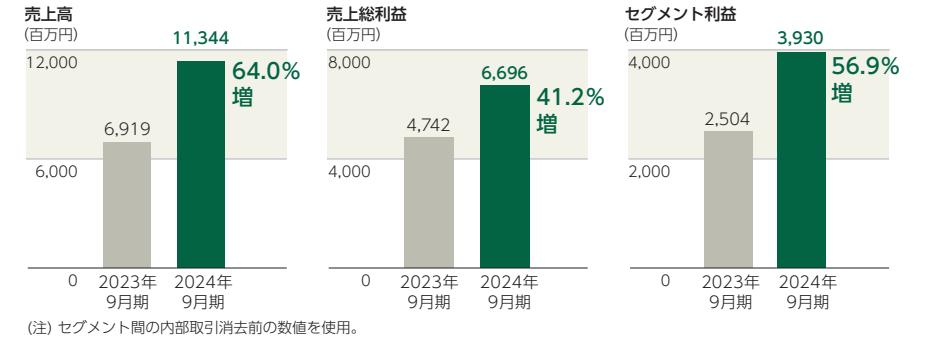
2024年9月期は復配し、
期末配当は1円50銭。
2025年9月期予想は
1円50銭増配の3円。



投資銀行事業

事業承継案件が順調に推移。
航空機リースなど
新たな取り組みも進展。

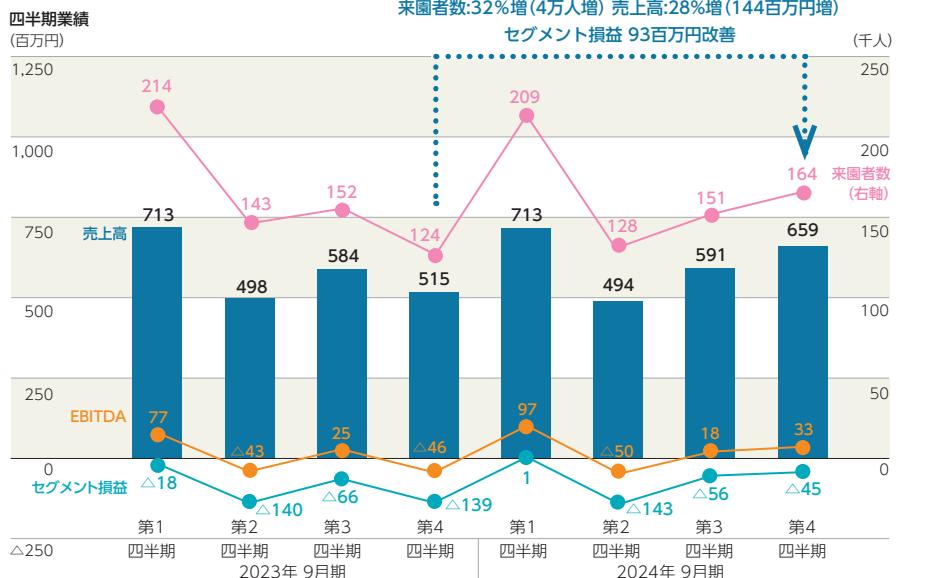
- PE投資収益、業務受託(アレンジメント)収益が順調に推移。
- 航空ビジネスなど、その他の投資銀行事業の各業務も増収。



エンタテインメント・サービス事業

来園者数が増加。
顧客単価上昇とコスト削減も進み、
増収、損益改善。

- プロモーション強化、コンテンツ増強により、来園者数が増加に転じる。
- 来園者数は、子ども応援キャンペーン等の効果もあり、Q4に増加。前期比3.3%増の65万人で着地。



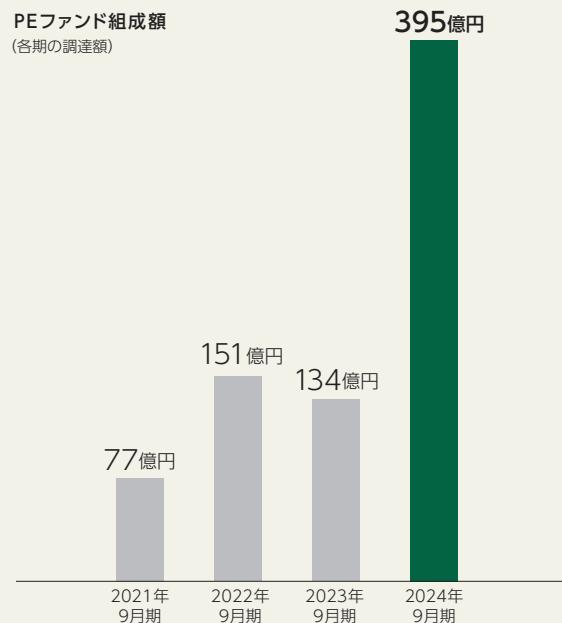
(注) 1. 来園者数は、メッツアピレージとムーミンバレーパークの合計。
2. セグメント間の内部取引消去前の数値を使用。
3. EBITDAは、セグメント利益に売上原価、販売費及び一般管理費に含まれる減価償却費を足し戻して算出。

投資銀行業務、投資業務 事業承継案件への投資を更に強化

事業承継案件へのPE投資は
高水準が続く

日本の事業承継市場が拡大する中、事業承継案件へ投資する当社のプライベートエクイティ (PE) ファンド組成額は前期比295%増の395億円となり、今後も高水準の投資を計画しています。

蓄積したノウハウと経験によって、難易度が高い案件において競争優位性を発揮し、高い収益性を維持するとともに、金融機関への営業を強化して案件獲得を推進いたします。

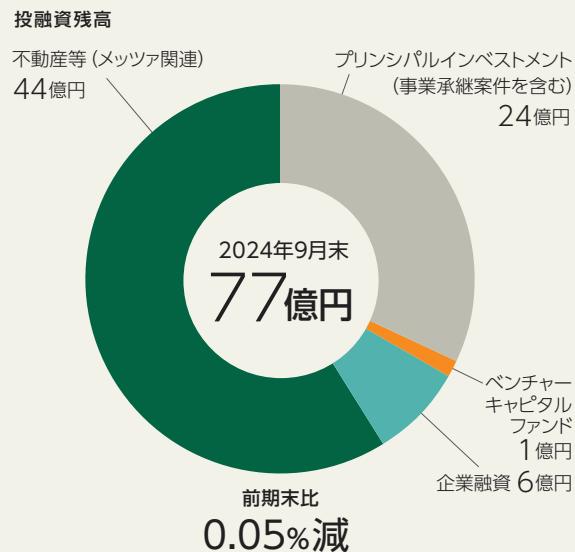


プリンシパルインベストメント

事業承継案件への投資の増加により、期初に27億円であった残高が第2四半期末には32億円まで増加しました。その後、投資回収が進み期末残高は24億円となりました。

不動産等(メツァ関連)

メツァビレッジではイベントの開催、運営費用削減の他、新規コンテンツや湖上を活用したアクティビティ導入などを進め、バリューアップを進めます。

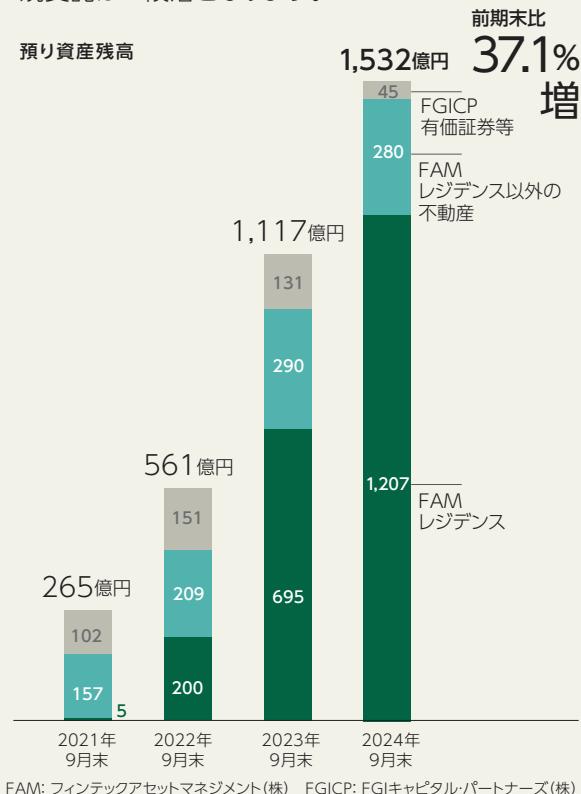


FGI、aviner(株)等の投資残高
子会社への出資、貸付を含むが、上記の各会社間の出資、貸付は含まず。

投資運用業務 預り資産残高は順調に増加

海外投資家による
レジデンス投資は一段落

日本の低金利と円安を背景とした海外機関投資家のレジデンス投資の増加により、アセットマネジメントにおける預り資産残高は前期末比37.1%増となりましたが、投資が計画通り進捗しているため、新規受託は一段落となります。



FAM: フィンテックアセットマネジメント(株) FGICP: FGIキャピタル・パートナーズ(株)

TOPICS

屋根置きの小口分散太陽光発電設備によるプロジェクトファイナンスをアレンジ
格付を取得して20億円の資金調達を実現

当社は、初期費用無料で太陽光発電設備を屋根に設置することで電気代をお得にする「シェアでんき」を提供する(株)シェアリングエネルギーが所有する2,126件の屋根置き太陽光発電設備について、将来の売電債権等を裏付とするプロジェクトファイナンスを組成。R&IからBBBの格付を取得した上で、金融機関から20億円の調達を実現しました。

同社は、事業拡大に伴い発電施設取得等のための資金調達が課題でしたが、当社は長期の事業期間にマッチした資金調達をアレンジしました。

屋根置きの小口分散太陽光発電設備により発生する債権をもとにしたプロジェクトファイナンスと格付取得は、それぞれ日本初となります。



画像提供: (株)シェアリングエネルギー

航空機資産等のオペレーティングリース事業を開始

当社子会社のaviner(株)は、2024年より航空機資産等のオペレーティングリース事業を開始しました。

当該事業は、アセットのセールアンドリースバック等によりリース資産を増やすことに加えて、ポートフォリオの一部を適切なタイミングで投資家へリース付資産を売却し、売却後もアセットマネジメントを行う事業です。

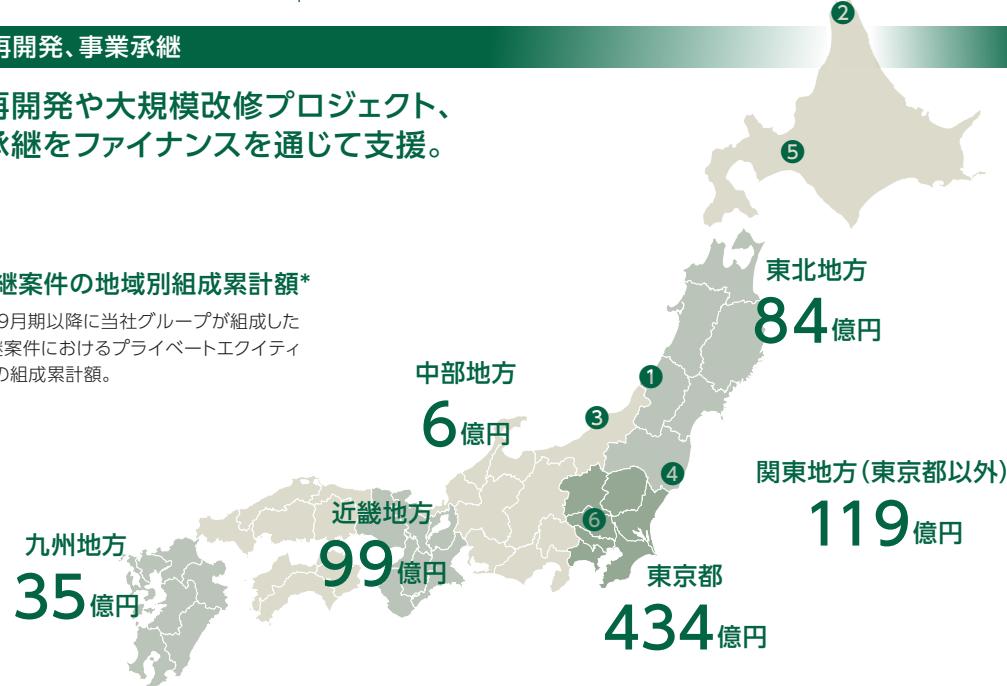
地域課題ソリューション | 地方公共団体の財務書類作成や再生可能エネルギー導入と、地域再開発プロジェクトや事業承継を支援する業務をそれぞれ拡大

地域再開発、事業承継

地域再開発や大規模改修プロジェクト、事業承継をファイナンスを通じて支援。

事業承継案件の地域別組成累計額*

*2020年9月期以降に当社グループが組成した事業承継案件におけるプライベートエクイティファンドの組成累計額。



再開発等のプロジェクト事例

①鶴岡プロジェクト 山形県鶴岡市、2017年～



ホテル等の大規模改修のためのファイナンスをアレンジ。アセットマネジメントを受託。

②稚内駅ビルプロジェクト

北海道稚内市、2015年～

物件を保有するファンドを不動産特定共同事業法スキームへの変更をアレンジした上で、アセットマネジメントを受託。

③長岡プロジェクト 新潟県長岡市、2023年～



市街地再開発事業「米百俵プレイス 北館」のアセットマネジメントを受託。

④広野プロジェクト

福島県双葉郡広野町、2020年～

福島原発の作業員宿舎として利用されるホテルを保有する特別目的会社のアセットマネジメントを受託。

⑤札幌サ高住プロジェクト(7案件)

北海道札幌市、2014～2022年

サービス付高齢者向け住宅の開発や取得のファイナンスアレンジ、アセットマネジメントを受託。

⑥ムーミンバレーパークプロジェクト

埼玉県飯能市、2015年～

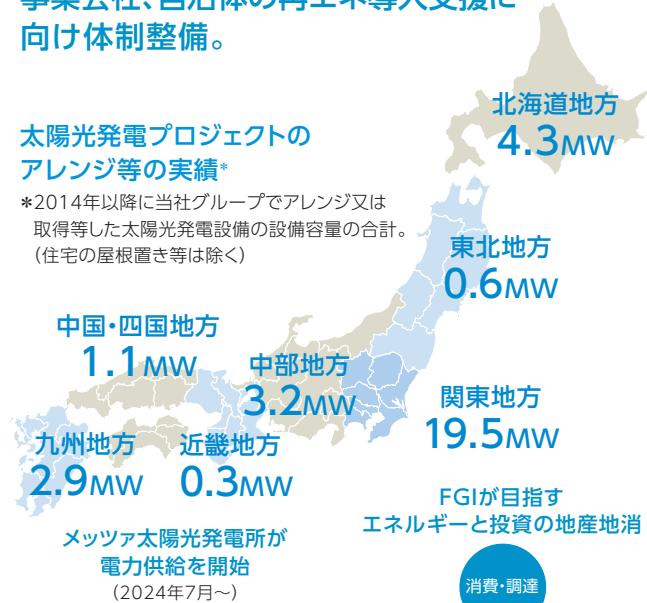
パーク用地の流動化により、地域金融機関等から63.5億円の開発資金を調達。2019年に開業。

再生可能エネルギー

当社内に再生可能エネルギー事業チームを組成。事業会社、自治体の再エネ導入支援に向け体制整備。

太陽光発電プロジェクトのアレンジ等の実績*

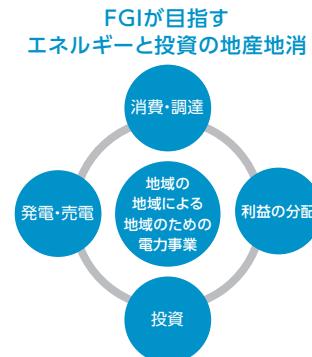
*2014年以降に当社グループでアレンジ又は取得等した太陽光発電設備の設備容量の合計。(住宅の屋根置き等は除く)



メツァ太陽光発電所が電力供給を開始 (2024年7月～)



ムーミンバレーパークへメツァ駐車場に設置したソーラーカーポートで発電した電力の供給を開始しました。今後の発電事業に向けたノウハウ蓄積も進んでいます。



地域内で資金循環

事業のコンセプトは、エネルギーと投資の地産地消による「発電収益の域内留保」です。域外企業などの投資ではなく域内の投資を活用することで、発電収益を域内に還流させる事業を推進します。

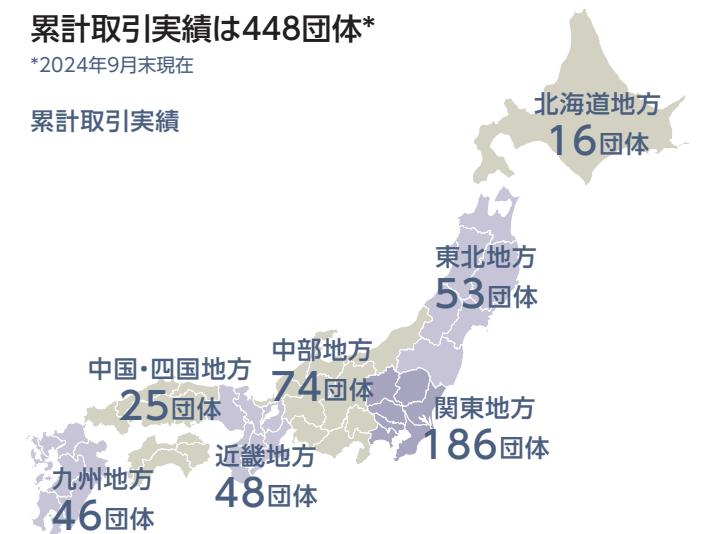
財務書類、公共施設マネジメント

地方公共団体の財務書類作成や公共施設等総合管理計画の策定等を支援。

累計取引実績は448団体*

*2024年9月末現在

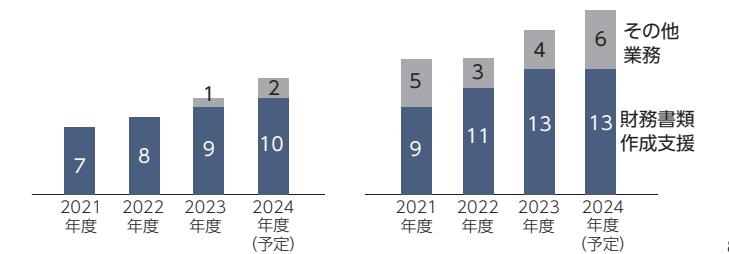
累計取引実績



大規模自治体から、財務書類作成支援のほか、公共施設マネジメントや行政計画策定の支援の引き合いが増加しています。

都道府県

政令指定都市・特別区



ムーミンバレーパークの取り組み



子どもを介してファミリー層にアプローチ。中高生も呼び込み、集客力を強化。

- 2024年9月期は、新規投資により新エリアを開設。子ども応援キャンペーン、湖上花火大会等のプロモーションの効果も大きく、来園者数が増加。
- 2025年9月期は、子ども料金(1デーパス)を前売2,000円から1,000円へ大幅値下げ。中高生にも当該料金を適用し、集客力を強化。コンテンツはソフトコンテンツを中心に順次、更新・追加。

2024年 9月期

キャンペーンで子どもにやさしい料金を設定、新規コンテンツを投入

子ども応援キャンペーン	新エリア「入り江のテラス」開設	じゃぶじゃぶクreek	ムーミン谷の湖上花火大会
子ども1デーパスを500円とするキャンペーンを実施。おとな料金の中高生も対象。	「飛行おにの魔法の帽子」から水柱が噴き出すみずあそび空間をおとな料金の中高生も対象。	ムーミン谷を流れる小川を、水に入って夏の暑さを吹き飛ばすゾーンに改修。	土日祝や夏休みの人気コンテンツ。ナイトパスや飲食、物販による売上増に貢献。

2025年 9月期

新規コンテンツが続々登場

ウィンターワンダーランド	ムーミン谷の音声ガイドが登場	ムーミン谷のおえかきひろば	ムーミン谷のジオラマのリニューアル
新キャラクター「モラン」が登場しパレード。ライトアップやオーロラ演出も楽しめる。	スマホの音声ガイドでパーク内のスポットを巡り、ムーミンの世界を冒険。多言語対応予定。	ホーローパネルのおえかきスペースが新登場。壁や床に自由におえかき。	スポットライトを当て、ナレーションとキャラクターの音声でムーミン谷の仲間たちを紹介。

地域への貢献

連携を深め、地域への貢献を推進

自治体、鉄道会社との連携	消防組と災害協定を締結	ライブアクター派遣	近隣の大学との連携
飯能市、西武鉄道(株)、(株)ムーミン物語の3者で地域活性化に向けた連携に関する基本協定を締結。	災害発生時に、緊急消防援助隊の駐車場や太陽光発電による電力を提供する協定を締結。	地域の祭り「飯能まつり」へライブアクターを派遣。	駿河台大学の学園祭に合わせて、メッツァとの間で無料シャトルバスを運行。

メッツァビレッジの取り組み



「北欧」や「自然」を軸に体験機会を創出。地域貢献を通じて収益を拡大。

- 花火大会など人気のあるイベントを実施。
- ペット連れやウェルネス、エコリズムなど多様なニーズに対応。
- ハイパーミュージアム飯能のオープンにより新たな来園者層を創造。
- LINEメッツァ会員組織による広告・販促戦略の拡大。

北欧の文化を体感して交流を深化

メッツァの北欧花火	メッツァの夏至祭	メッツァ・ヴァイキング・ウィークエンド	スウェーデン・クリスマス・ルシアウィークエンド
北欧各国大使館おすすめ音楽を聴きながら楽しむ花火。BBQディナー付の特別観覧席を販売。	北欧の夏至祭をモチーフに北欧8ヶ国の夏至を体験。各国大使館等が協力。	ヴァイキングの戦いのデモンストレーションを披露するなど、ヴァイキング文化を紹介。	スウェーデンのクリスマス伝統行事ルシアの聖歌隊コーラスなどスウェーデン文化を満喫。

豊かな自然を使ったアクティビティ

キッズパーク	自然観察	湖上アクティビティ	RIVER RANTA Hanno*
楽しく身体をつかって遊べるエリアが、春・秋に期間限定でオープン。	トウキョウサンショウウオがいる自然の中で昆虫採集や標本づくりなどを体験。	カヌーやアイランドボードなどが充実。2024年8月からサイクルポートを追加。	河原BBQの聖地。飯能河原にあるBBQサイト。2024年に川下りが楽しめるリバーフローティングを導入。*飯能市内の入間川の河原で運営。

地域社会と共に創る

森と湖の発表会	ドッグフレンドリーフェスタ	トントウフェスティバル	2025年3月オープン予定
中高生が吹奏楽などの日頃の練習の成果を発表。2024年は9校が参加。	愛犬との生活で、新たな発見になるコンテンツやショップを設置。	「私らしさ」「あなたらしさ」という違いを体感し楽しみながら繋がっていくフェスティバル。	最前線の現代アーティスト連が、自然と対峙して新たな文化価値を創造。